

東京大学演習林鳥類目録

第3版

(2014年4月～2021年3月)

東京大学演習林鳥類研究会

Bird check list of the University of Tokyo Forests
3RD Edition
(April 2014 to March 2021)

Bird research group of the University of Tokyo Forests

I. はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 (以下, 演習林) は, 1894年の千葉演習林 (以下, 千葉) 創設以来, 100年を超える歴史を持つ。千葉のほかに, 北海道演習林 (以下, 北演), 秩父演習林 (以下, 秩父), 田無演習林 (以下, 田無), 生態水文学研究所 (以下, 生水), 富士癒しの森研究所 (以下, 富士), 樹芸研究所 (以下, 樹芸) の計7つの地方演習林から成り, 亜寒帯から暖温帯までの多様な気候と, 海岸から亜高山帯までの多様な植生を有する, 教育・研究活動のための森林フィールドである¹⁾。

東京大学演習林鳥類研究会では, これまで2004年4月から2014年3月までの期間に各地方演習林で確認された鳥類の目録を報告してきた^{1, 2)}。その後も5年ごとに目録を更新することにより, 森林利用・気候等の変動に伴う鳥類相の変化を捉えるためのモニタリングを継続する予定である。本報告は, 2014年4月から2021年3月末までの7年間の鳥類調査の結果をまとめたものである。2014年3月以前の確認種については, 引用した文献を記載した。なお, 樹芸は2014年4月～2015年3月の間, 担当者不在のため調査を実施していない。

本報告を取りまとめた東京大学演習林鳥類研究会は, 東京大学附属演習林・基盤データ整備委員会・生物部門・鳥類分野の活動における部会の1つとして位置づけられており, 各地方演習林の鳥類に関連した教育・研究のための基礎資料の整備を目的としている。今回の報告において各地方演習林を担当した職員は, 以下の通りである (50音順)。千葉: 阿達康真 (2014年4月～2017年3月, 2018年4月～2021年3月), 村川功雄 (2014年4月～2020年6月); 北演: 阿達康真 (2017年4月～2018年3月), 犬飼慎也, 江口由典, 及川希, 木村徳志, 小林徹行 (2018年4月～2021年3月), 遠國正樹 (2014年4月～2018年3月), 福岡哲, 松井理生 (2016年4月

～2021年3月)；秩父：五十嵐勇治(2014年4月～2019年3月)，才木道雄，齋藤俊浩，高德佳絵，千嶋武(2014年4月～2017年3月，2019年4月～2021年3月)；田無：相川美絵子；生水：松井理生(2014年4月～2016年3月)，梁瀬桐子(2016年4月～2021年3月)；富士：齋藤純子，村瀬一隆(2014年4月～2015年3月)；樹芸：村瀬一隆(2015年4月～2021年3月)。

本報告をまとめるに当たり，各地方演習林の職員に有益な情報を提供していただいた。この場をお借りして御礼申し上げます。

II. 調査地および方法

目録は，すべての地方演習林に共通した鳥類調査(I種調査)と地方演習林ごとの独自の鳥類調査(II種調査)の結果に基づいて作成した。I種調査では，4月から6月にかけての繁殖期にポイントセンサスを行うとともに，通年で地方演習林全域の任意調査を行った。I種調査員不在の地方演習林については隔年で調査を行った。II種調査では，自動撮影カメラやボイスレコーダーを用いた調査，繁殖期のラインセンサスや巣箱調査，越冬期のポイントセンサス等を行った。

各地方演習林のI種ポイントセンサス調査地と，II種調査地と調査内容は，以下の通りである。千葉(35°9'N, 139°32'E 清澄)種：本沢林道(標高35m-110m)，II種：清澄41E(標高290m)で巣箱調査。北演(43°13'N, 142°23'E 山部)I種：樹木園(標高230m)，108林班(神社山，標高300-360m)，12林班(標高680m-770m)，II種：なし。秩父(35°56'N, 138°49'E 小赤沢)I種：27・28・29林班を横断する木馬道歩道(標高1,000m-1,350m)，II種：影森苗畑(標高240m)でポイントセンサス，東谷林道(標高600-810m)でラインセンサス，入川林道(標高1,040-1,250m)でラインセンサス。田無(35°44'N, 139°32'E)I種：全域(標高60m)，II種：なし。生水(35°12'N, 137°10'E 白坂)I種・II種：65・67林班白坂量水堰堤・北谷南谷小流域(標高300-350m)。富士(35°24'N, 138°52'E)I種：全域(標高990-1,060m)，II種：なし。樹芸(34°41'N, 138°51'E 青野)I種：岩樟園林道(標高200-280m)，山下林道(標高130-250m)，クスノキ林歩道(標高200-280m)，II種：なし。

III. 季節性，繁殖状況および分類

各地方演習林における確認種の季節性と繁殖状況を表-1に示した。

季節性は6つのタイプに分類した。R：留鳥，1年を通して観察される種。S：夏鳥，主に夏期に観察される種。W：冬鳥，主に冬期に観察される種。P：旅鳥，主に春と秋の渡りの時期に観察される種。A：迷鳥，通常は各調査地では観察されないとされている種。U：季節性不明種，目撃回数が少なく判断ができない種。なお，本報告の季節性とは，各地方演習林内での季節性であり，一般的な図鑑などの季節性とは異なる場合がある。また，2014年3月以前に確認された

種や、2004年3月以前の文献^{3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10)}による確認種のうち、本報告の調査期間で確認されていない種については、アルファベットを小文字で表記した。

繁殖確認は、営巣(産卵・育雛)、幼鳥、成鳥の餌運び、古巣により行い、さえぎりだけの確認は、繁殖未確認とした。繁殖状況は3つのタイプに分類した。1:2014年4月以降に繁殖を確認した種。2:2014年3月以前に繁殖を確認した種。3:繁殖未確認種。

本報告における目、科、属、種名の配列、学名、英名、標準和名は、日本鳥類目録改訂第7版¹¹⁾によった。

IV. 各論

7つの演習林における、2021年3月までの記録数は、19目48科110属172種・亜種であった。各地方演習林の記録数は、次の通りである。千葉:16目36科75属99種・亜種。北演:15目40科84属121種・亜種。秩父:14目38科78属104種・亜種。田無:12目29科45属56種・亜種。生水:15目37科70属95種・亜種。富士:14目37科67属93種・亜種。樹芸:15目34科62属79種・亜種。なお、前回までの目録では種までの記録としていたが、今回は亜種までの記録とした。

以下、主に2014年4月以降の確認種について、前回目録との変更点、修正点を記述した。確認の範囲は、演習林内全域を1つとしており、林班での区別はしていない。

千葉演習林

キジ科

ヤマドリ:2015年5月、郷台林道池の沢周辺で繁殖を初確認した。

キジ:2020年7月、旧官舎跡地(四方木)で巣と卵を発見した。確認、繁殖共に初記録である。

ウミツバメ科

ハイイロウミツバメ:2003年6月に死骸を拾得して以来確認できないため、季節性を旅鳥から不明に変更した。

ウ科

カワウ:2019年4月、本沢林道沿いの二夕間川で前回未確認だが今回確認(以下、再確認)した。

サギ科

ダイサギ:2020年8月、演習林内の坂本ダムで初確認した。

コサギ:今回記録を見直したところ、演習林外での確認だったためリストから削除した。

クイナ科

バン：今回記録を見直したところ、演習林外での確認だったためリストから削除した。

カッコウ科

ジュウイチ：2020年5月（2008年以来）、大沢又で再確認した。

ツツドリ：夏期、桜ヶ尾や橋ノ沢で再確認できた。

アマツバメ科

ヒメアマツバメ：通年、天津事務所上空を10羽以上の群れで飛翔しているのを再確認できた。

シギ科

ヤマシギ：2018年11月19日、仙石林道で初確認した。

ミサゴ科

ミサゴ：2017年12月、坂本ダムで再確認した。

タカ科

ノスリ：冬期、本沢林道や猪ノ川林道で再確認できた。

フクロウ科

アオバズク：前回記載ミスのため、季節性を留鳥から夏鳥に修正した。

キツツキ科

コゲラ：2019年7月、清澄作業所構内で繁殖を初確認した。

アカゲラ：2014年12月、2015年3月、2018年12月、清澄構内や楯ノ木台で再確認した。

ハヤブサ科

チョウゲンボウ：通年、林内での確認はなく天津事務所や官舎など開けた場所で再確認できた。

ヤイロチョウ科

ヤイロチョウ：2015年5月、平塚歩道で初確認した。その後も2015年6月に郷台作業所構内、2015年8月に橋ノ沢で確認した。2015年5月28日、郷台作業所裏で2羽のオスが交互に囀っているのを確認した。

モズ科

モズ：通年、天津事務所や清澄作業所構内などの開けた場所で再確認できた。

シジュウカラ科

ヤマガラ：毎年行っている鴨川市交流事業の公開講座で設置した巣箱で繁殖を再確認できた。

ウグイス科

ウグイス：2016年7月に菖蒲沢林道、2020年4月に郷台林道沿いで、繁殖を再確認した。

エナガ科

エナガ：2019年5月7日、東ノ沢で当年巣立ち後の巣を発見することで、繁殖を初確認した。

メジロ科

メジロ：2018年9月と2020年7月、天津事務所で巣立ち後の巣を発見することにより、繁殖を再確認した。

ミソサザイ科

ミソサザイ：2015年5月27日、千葉県野鳥の会鳥獣保護区内野生鳥獣生息環境調査に職員が同行した際、巣を発見することにより繁殖を初確認した。

ムクドリ科

ムクドリ：今回記録を見直したところ、演習林外での確認だったためリストから削除した。

ヒタキ科

コマドリ：2020年10月9日、安野トンネル坑口付近で初確認した。

イソヒヨドリ：2015年5月、事務所の屋根裏で繁殖を初確認した。2018年5月と2020年5月にも同場所で繁殖した。

イワヒバリ科

カヤクグリ：現在までに1度のみ確認のため、季節性を冬鳥から不明に変更した。

スズメ科

スズメ：通年、天津事務所周辺で再確認できた。

セキレイ科

セグロセキレイ：通年、猪ノ川林道沿いなどの河川で再確認できた。

アトリ科

ウソ：冬期、清澄作業所構内や郷台林道入口の開けた場所で再確認できた。

ホオジロ科

ホオジロ：2017年6月12日、郷台作業所苗畑で繁殖を初確認した。

ミヤマホオジロ：2016年11月、清澄小屋ノ沢土場で小群を初確認した。

外来種

ハト科

カワラバト（ドバト）：2020年7月、天津事務所駐車場で初確認した。

北海道演習林

キジ科

エゾライチョウ：2015年、2016年、2019年、林内全域（樹木園や神社山では稀）で繁殖を再確認できた。

カモ科

コハクチョウ、オオハクチョウ：渡りの時期に通過するが、演習林内に降り立つことは極めて稀で、種同定には至らない。

オシドリ：2020年10月1日、29林班D小班で若鳥を含む10羽以上の集団を記録することで繁殖を初確認した。

マガモ：2016年6月に82林班オンコ沢の池、2017年5月に51林班C小班西達布川、2020年5月に樹木園の繁殖期調査で確認するなど、一部留鳥の可能性はある。

ミコアイサ：2019年4月2日、26林班A小班的赤松沢で初確認した。つがいのため繁殖する可能性がある。

ハト科

キジバト：2014年7月18日、樹木園で繁殖を再確認した。

クイナ科

バン：2019年6月26日夜間、山部職員宿舎の窓に激突し一時的に脳震とう状態となった後、飛び立った記録により、再確認とした。

アマツバメ科

キタアマツバメ：2016年7月1日、山部事務所上空でハリオアマツバメと混群しているのを初確認した。2019年5月23日、12林班でも確認した。

シギ科

ヤマシギ：2016年6月16日、86林班D小班で繁殖を初確認した。2016年7月7日に8林班C小班的林道脇でも卵を確認した。

タカ科

オジロワシ：早ければ10月頃から飛来し、演習林内の沢や周辺河川など水系で確認できた。目撃頻度は高くないが、7月に入っても確認されたため、一部留鳥の可能性もある。

ハイタカ：通年、低標高域で再確認できた。山部職員宿舎、樹木園、麓郷セミナーハウスなど市街地周辺でも確認できた。

オオタカ：夏期にしか確認できないため、季節性を留鳥から夏鳥に変更した。

クマタカ：幼鳥と思われる羽色の個体を目撃しており、演習林内で繁殖している可能性がある。

フクロウ科

エゾフクロウ：2020年6月23日、63林班A小班で繁殖を初確認した。

アオバズク：2019年7月24日と2020年6月24日夜間、山部事務所構内で再確認した。

キツキ科

エゾコゲラ：2019年5月16日、107林班B小班林道脇で繁殖を初確認した。

コアカゲラ：2020年11月20日、樹木園構内の銘木土場脇のポプラクロン集植所で、雄1羽を初確認した。

エゾアカゲラ：2016年6月24日、73林班C小班で繁殖を再確認した。

クマゲラ：2017年6月18日，神社山109林班C小班で繁殖を再確認した。

ハヤブサ科

チゴハヤブサ：2015年8月12日，麓郷セミナーハウス構内で繁殖を初確認した。

カラス科

ハシボソガラス：2014年8月12日，31林班および麓郷街道で，完全白色のアルビノ個体を1羽確認した。この周辺で一定期間頻繁に目撃され，新聞記事にもなった。

ヒヨドリ科

ヒヨドリ：2014年7月23日，樹木園の見本林樹上で繁殖を初確認した。

ゴジュウカラ科

シロハラゴジュウカラ：2018年7月6日，樹木園の見本林で繁殖を再確認した。

ヒタキ科

クロツグミ：樹木園構内で幼鳥と思われる羽色の個体が確認できるため，繁殖している可能性がある。

ノビタキ：2015年6月27日，本沢ゲート付近で初確認した。幼鳥のため繁殖も初確認である。

キビタキ：2014年7月23日，樹木園の外国樹種見本林で繁殖を再確認した。

オオルリ：2020年6月2日，36林班A小班で繁殖を再確認した。

セキレイ科

ハクセキレイ：以前から一部が越冬していると推測されるが，個体数は少ない。2018年6月29日，樹木園作事場前で繁殖を再確認した。

セグロセキレイ：2019年2月9日に一見沢で確認したが，越冬するかどうかは不明である。

アトリ科

アカウソ：2015年3月16日，樹木園作事場前で初確認した。

ホオジロ科

カシラダカ：2015年10月7日，樹木園で初確認した。同年10月24日，50林班でも確認した。

アオジ：2020年6月22日，74林班H小班で繁殖を再確認した。

秩父演習林

キジ科

キジ：通年，影森苗畑と影森宿舎（以下，影森）で再確認できた。

ウ科

カワウ：2020年1月16日，秩父事務所で初確認した。その後も確認できた。

ゴイサギ：夏期，影森で再確認できた。

アオサギ：2017年9月21日，突出峠で初確認した。その後，大血川，影森でも確認できた。

カッコウ科

カッコウ：2014年5月，入川定点調査で遠くのさえずりを記録することで初確認した。

アマツバメ科

アマツバメ：2019年5月，突出峠で初確認した。

タカ科

ツミ：2017年7月7日，入川林道28林班は2小班のバラモミ上層に設置した自動撮影カメラ（以下，バラモミ上層カメラ）で再確認した。

ノスリ：2014年12月に赤沢，2015年4月に第2作業道，2017年11月に入山で確認したため，季節性を夏鳥から留鳥に変更した。

クマタカ：2018年11月27日，28林班は2小班バラモミ上層で繁殖を初確認した。

キツツキ科

コゲラ：2017年6月，木馬道で繁殖を再確認した。

アカゲラ：2020年，大面積プロットのツガ上部に設置した自動撮影カメラで繁殖を初確認した。

ハヤブサ科

ハヤブサ：2018年3月，入川上空での飛翔を民間調査員と共に初確認した。

ヒヨドリ科

ヒヨドリ：2014年6月15日，影森宿舎の垣根で繁殖を初確認した。その後も同場所で繁殖確認できた。

ウグイス科

ヤブサメ：2014年7月，高平で繁殖を再確認したが，確認回数は減少している。

ミソサザイ科

ミソサザイ：2017年と2019年の8月，突出峠で繁殖を再確認した。

ヒタキ科

マミチャジナイ：2017年10月，バラモミ上層カメラで初確認した。

アカハラ：2020年，バラモミ上層カメラで繁殖を初確認した。

コルリ：2019年6月26日，突出峠で繁殖を初確認した。

ルリビタキ：2016年5月，大血川で繁殖を再確認した。2017年7月・9月，2019年8月，突出峠でも繁殖を確認した。

キビタキ：2019年7月，突出峠で繁殖を初確認した。

オオルリ：2014年7月，大血川で繁殖を再確認した。2017年5月，入川林道法面でも繁殖を

確認した。

イワヒバリ科

カヤクグリ：季節性を前回留鳥としていたが冬鳥に修正した。

アトリ科

アカウソ：2018年2月、大血川で初確認した。同時期、入川のコンテナハウス前でも確認した。

ウソ：2017年8月23日、突出岬で繁殖を初確認した。

外来種

キジ科

コジュケイ：2020年10月、秩父事務所で再確認した。

ハト科

カワラバト（ドバト）：2015年12月9日、影森苗畑で初確認した。

チメドリ科

ガビチョウ：2017年4月、影森で繁殖を初確認した。

ソウシチョウ：以前は通年で確認できたが、今期は夏期の確認がほとんどのため、今後夏鳥に変更する可能性がある。

田無演習林

カモ科

カルガモ：2014年6月の長雨で14小班が冠水した際、地上で再確認した。

カッコウ科

カッコウ：2014年6月、4小班で初確認した。その後もほぼ毎年確認できた。

シギ科

ヤマシギ：2018年4月5日、7小班秩父産ヒノキ林の自動撮影カメラ（以下、7小班カメラ）で初確認した。

フクロウ科

フクロウ：2016年12月、4小班で初確認した。その後もほぼ毎年確認できた。

キツツキ科

アカゲラ：2017年1月、16小班で初確認した。

アオゲラ：2018年3月、求愛行動を確認した。2017年6月、巣があるとみられる場所に近づくと威嚇されたとの情報があるため、繁殖している可能性がある。

ハヤブサ科

チョウゲンボウ：2016年11月、20小班で初確認した。

モズ科

モズ：通年，演習林全域で再確認できた。

カラス科

カケス：2015年1月，26小班で再確認した。

ハシブトガラス：2014年度に2小班，2016，2020年度に1小班で繁殖を再確認した。

シジュウカラ科

ヒガラ：2016年6月に庁舎前とスギ・ヒノキ科園芸品種見本林付近，2017年5月に庁舎前とクロマツ採種園付近で再確認した。

ヒヨドリ科

ヒヨドリ：2014年5月，スギ・ヒノキ科園芸品種見本林で繁殖を再確認した。

ムシクイ科

オオムシクイ：2018年6月，クロマツ採種園付近で初確認した。

ヒタキ科

トラツグミ：2016年11月17日，7小班カメラで初確認した。その後も確認できた。

シロハラ：冬期，演習林全域で再確認できた。

アカハラ：2016年4月，1小班で再確認した。

ツグミ：冬期，14小班や26小班など開けた場所で再確認できた。

ルリビタキ：2017年1月，4小班で初確認した。

ジョウビタキ：2016年2月，1小班で初確認した。その後も確認できた。

アトリ科

アトリ：2016年12月～2017年1月，生態系長期観測プロット付近で初確認した。

シメ：冬期，演習林全域で再確認できた。

ホオジロ科

アオジ：冬期，建物付近や26小班第一苗畑の自動撮影カメラ（以下，26小班カメラ）で再確認できた。10月～5月の確認のため，季節性を留鳥から冬鳥に修正した。

外来種**キジ科**

コジュケイ：2016年6月，第二苗畑で再確認した。

インコ科

ワカケホンセイインコ：通年，演習林全域で再確認できた。

チメドリ科

ガビチョウ：2014年11月，26小班カメラで初確認した。その後も確認できた。

ソウシチョウ：2016年12月～2017年3月，7小班カメラで再確認した。

生態水文学研究所

キジ科

キジ：2014年11月27日，穴の宮の自動撮影カメラ（以下，穴の宮カメラ）で再確認した。

ウ科

カワウ：通年，赤津で再確認できた。

サギ科

ダイサギ：2019年，赤津の自動撮影カメラ（以下，赤津カメラ）で初確認した。その後も確認できた。

カワセミ科

カワセミ：2014年6月25日と2017年7月3日，赤津で再確認した。

ハヤブサ科

ハヤブサ：2020年9月24日，犬山の自動撮影カメラ（以下，犬山カメラ）で再確認した。

ツバメ科

ツバメ：夏期，五位塚，74林班，穴の宮で再確認できた。

ウグイス科

ヤブサメ：2017年，赤津で繁殖を再確認した。

ムシクイ科

メボソムシクイ：2019年4月12日，赤津で再確認した。

エゾムシクイ：2017年4月28日，赤津で再確認した。

ムクドリ科

ムクドリ：通年，五位塚構内で再確認できた。

ヒタキ科

イソヒヨドリ：2015年，五位塚構内で初確認した。2017年5月16日，同場所で繁殖を初確認した。その後も繁殖確認できた。

コサメビタキ：2019年5月8日，赤津苗畑跡地周辺で再確認した。つがいのため再繁殖する可能性がある。

セキレイ科

キセキレイ：2014年，赤津宿泊施設裏で繁殖を再確認した。

セグロセキレイ：2018年5月17日，五位塚事務所構内で繁殖を初確認した。2019年にも同場所で繁殖を確認した。

ビンズイ：2019年9月2日，赤津カメラで今期1度だけの確認のため，季節性を冬鳥から不明に変更した。

アトリ科

シメ：2020年5月1日，赤津で再確認した。

ホオジロ科

カシラダカ：2015年1月14日，穴の宮量水堰堤付近で再確認した。

ミヤマホオジロ：2019年11月1日，赤津苗畑跡地で初確認した。

クロジ：2020年5月1日，赤津で再確認した。1回のみの確認のため，季節性を冬鳥から不明に変更した。

外来種**キジ科**

コジュケイ：2018年6月22日，赤津で繁殖を初確認した。2020年にも赤津カメラで繁殖を確認した。

富士癒しの森研究所**ハト科**

キジバト：2016年6月1日，2林班で繁殖を再確認した。

ウ科

カワウ：2019年4月19日，3林班定点ポイント No.9 で初確認した。

タカ科

オオタカ：季節性を迷鳥から留鳥に修正した。

ノスリ：2018年5月24日に3林班定点ポイント No.6 と No.10 から9への移動中，6月22日に1林班，2019年8月27日に1林班で再確認した。季節性を迷鳥から留鳥に修正した。

キツツキ科

コゲラ，アオゲラ：演習林全域で繁殖を再確認できた。

モズ科

チゴモズ：文献³⁾による記録で季節性を迷鳥としていたが，不明に変更した。

カラス科

ハシボソガラス：2016年6月30日，2林班で繁殖を初確認した。

ハシブトガラス：2019年8月29日，1林班で繁殖を再確認した。2020年7月にも同場所で繁殖を確認した。

シジュウカラ科

コガラ：2018年6月8日，3林班定点ポイント No.6 で繁殖を再確認した。2019年にも繁殖確認した。

ヤマガラ：2015年7月24日，1林班で繁殖を初確認した。その後も毎年繁殖確認できた。

ヒガラ：2019年6月18日，2林班定点ポイント No.5 で繁殖を再確認した。

ツバメ科

イワツバメ：夏期，演習林全域で再確認できた。

ヒヨドリ科

ヒヨドリ：2019年9月2日，事務所周辺で繁殖を再確認した。

ウグイス科

ヤブサメ：2017年5月16日に3林班定点ポイント No.9，2019年4月16日に3林班，2019年5月8日に3林班で再確認した。

エナガ科

エナガ：2015年7月12日，1林班で繁殖を再確認した。

ムシクイ科

センダイムシクイ：2016年5月31日，3林班定点ポイント No.10 で繁殖を初確認した。

ゴジュウカラ科

ゴジュウカラ：2017年7月8日，1林班で繁殖を初確認した。

ムクドリ科

ムクドリ：2020年7月31日，1林班で繁殖を初確認した。

コムクドリ：2015年6月6日，1林班で繁殖を再確認した。その後も毎年繁殖確認できた。

ヒタキ科

トラツグミ：2020年9月14日，3林班で再確認した。

クロツグミ：演習林全域で確認できたが，年々確認数は減少した。シカの食害による下層植生の変化が影響していると思われる。

アカハラ：2017年11月2日に2林班定点ポイント No.5，2019年5月8日に1林班で再確認した。

コルリ：2017年6月16日，3林班定点ポイント No.9 で確認した。No.9 周辺は下刈りや草刈りを行わない小班で，以前は数があり確認できることが多かったが，シカの食害による林内環境の変化が影響していると思われる。

エゾビタキ：2018年10月2日，1林班で再確認した。

セキレイ科

キセキレイ：2020年6月3日，2林班で繁殖を再確認した。

アトリ科

マヒワ：2017年4月20日に3林班定点ポイント No.7，2019年4月16日に2林班にある定点ポイント No.4 で再確認した。季節性を迷鳥から旅鳥に変更した。

ウソ：季節性を旅鳥から冬鳥に変更した。

シメ：季節性を冬鳥から旅鳥に変更した。

ホオジロ科

ノジコ：2018年6月8日に2林班で繁殖を初確認した。同年7月1日に3林班でも繁殖を確認した。

外来種

チメドリ科

ガビチョウ：夏期の確認だが回数が少ないため、季節性を迷鳥から不明に変更した。

樹芸研究所

キジ科

キジ：2021年1月29日、加納事務所構内で再確認した。

カモ科

オシドリ：2021年3月1日に青野研究林4林班9小班，同年3月11日に加納事務所構内で再確認した。

ウ科

カワウ：2015年10月19日，加納事務所で初確認した。2020年1月24日，加納事務所防火用水池でも確認した。

サギ科

ミゾゴイ：2016年6月～7月と2017年6月～7月，1林班で再確認した。

ダイサギ：2020年1月29日，加納事務所の防火用水池で初確認した。

タカ科

サシバ：2019年4月18日，加納事務所構内で初確認した。2020年4月10日にも同場所で確認した。

ヤツガシラ科

ヤツガシラ：2017年3月9日，加納事務所構内で初確認した。

カワセミ科

アカショウビン：2016年6月27日，青野研究林で初確認した。その後もほぼ毎年確認できた。

キツツキ科

コゲラ：2015年，青野研究林1林班20小班で繁殖を初確認した。

アカゲラ：2020年6月3日，青野研究林1林班14小班で再確認した。

ハヤブサ科

チョウゲンボウ：2020年2月18日，加納事務所構内で初確認した。

カラス科

ハシブトガラス：2016年，加納事務所構内で繁殖を再確認した。その後も2019年と2020年，同場所で繁殖を確認した。

ツバメ科

イワツバメ：2017年6月13日，青野研究林2林班22小班で再確認した。

ヒタキ科

アカハラ：2020年2月27日，加納事務所構内で再確認した。

セキレイ科

セグロセキレイ：2015年，青野研究林1林班20小班で繁殖を初確認した。

アトリ科

ウソ：2017年5月18日に青野研究林5林班，2020年3月25日に2林班で再確認した。

ホオジロ科

ホオジロ：2020年，加納事務所構内で繁殖を初確認した。

外来種

チメドリ科

ガビチョウ：2016年，青野研究林2林班22小班で初確認した。

ソウシチョウ：2015年5月25日，2林班で初確認した。

引用文献

- 1) 東京大学演習林鳥類研究会 (2009) 東京大学演習林鳥類目録. 演習林 48 : 103-131.
- 2) 東京大学演習林鳥類研究会 (2015) 東京大学演習林鳥類目録. 演習林 57 : 75-102.
- 3) 石田健 (1987) 山中湖の東京大学富士演習林周辺の鳥類群集 I. 概説. Stri6 : 66-79.
- 4) 有澤浩・芝野伸策 (1983) 自然公園総合調査 (富良野芦別道立自然公園) 報告書. 芦別・夕張山系の鳥類 : 144-155.
- 5) 千葉県野鳥の会 (2005) 鳥獣保護区等内野生鳥獣生息環境調査報告 (平成 17 年度). 千葉県野鳥の会
- 6) 柴田栄 (1981) 秩父演習林およびその周辺における林相と鳥類群集. 東京大学農学部林学科森林動物学研究室卒業論文
- 7) 有澤浩 (1988) クマゲラ営巣木周辺における繁殖期の鳥類相. 日林北支論 37 : 113-115.
- 8) 石田健 (1988) 東京大学農学部附属演習林田無試験地における主要な鳥類の生息状況 - 鳥状に隔離された緑地の鳥類相について -. 東大演報 80 : 193-201.
- 9) 石田健 (1997) 鳥類群集路森林の物理的構造. 大面積プロットによる秩父地方山地帯天然林生態系の解明 (研究代表者梶幹男)

- 10) 東京大学農学部附属演習林 (1989) 秩父演習林自然環境調査報告書 (昭和 63 年度). 31-40.
- 11) 日本鳥学会 (2012) 日本鳥類目録改訂第 7 版. 日本鳥学会

表-1 各地方演習林における確認種の季節性と繁殖状況

和名	学名	千葉	北海道	秩父	田無	生水	富士	樹芸	文献
キジ目 GALLIFORMES									
キジ科 PHASIANIDAE									
1 エゾライチョウ	<i>Tetrastes bonasia</i>		R1						
	<i>Tetrastes bonasia vicinitas</i>								
2 ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>								
	<i>Syrnaticus soemmerringii scintillans</i>	R1		R1		R2		R2	
3 キジ	<i>Phasianus colchicus</i>								
	<i>Phasianus colchicus robustipes</i>	R1		R3		R2	r3	R3	1
カモ目 ANSERIFORMES									
カモ科 ANATIDAE									
4 コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>								
	<i>Cygnus columbianus jankowskyi</i>		P						2
5 オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>		P						2
6 オンドリ	<i>Aix galericulata</i>	R2	S1	u				R3	2
7 マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								
	<i>Anas platyrhynchos</i>	w	W	w					1,2
8 カルガモ	<i>Anas zonorhynchos</i>	R2	S2		R3	R3	r3	R1	2
9 コガモ	<i>Anas crecca</i>								
	<i>Anas crecca crecca</i>	w	W						1
10 キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	w							1
11 ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>		U						
12 カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>								
	<i>Mergus merganser merganser</i>		R3						
ハト目 COLUMBIFORMES									
ハト科 COLUMBIDAE									
13 キジハト	<i>Streptopelia orientalis</i>								
	<i>Streptopelia orientalis orientalis</i>	R2	S1	R3	R2	R2	R1	R3	
14 アオハト	<i>Treron sieboldii</i>								
	<i>Treron sieboldii sieboldii</i>	R3	S3	S3	R3	R3	S3	R3	
ミズナギドリ目 PROCELLARIIFORMES									
ウミツバメ科 HYDROBATIDAE									
15 ハイロウミツバメ	<i>Oceanodroma furcata</i>								
	<i>Oceanodroma furcata furcata</i>	u							1
カツオドリ目 SULIFORMES									
ウ科 PHALACROCORACIDAE									
16 カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>								
	<i>Phalacrocorax carbo hanedae</i>	R3		R3		R3	R3	R3	
ペリカン目 PELECANIFORMES									
サギ科 ARDEIDAE									
17 ミソゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	S2				S3		S3	
18 ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>								
	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i>			S3					
19 アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								
	<i>Ardea cinerea juyi</i>	R3	S3	R3		R3	R3	R3	
20 ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								
	<i>Ardea alba alba</i>	R3				R3	r3	R3	2
21 コサギ	<i>Egretta garzetta</i>								
	<i>Egretta garzetta garzetta</i>						r3		1
ツル目 GRUIFORMES									
クイナ科 RALLIDAE									
22 クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>								
	<i>Rallus aquaticus indicus</i>		u						4
23 ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>								
	<i>Porzana fusca erythrothorax</i>		u						4
24 パン	<i>Gallinula chloropus</i>								
	<i>Gallinula chloropus chloropus</i>		U						
カッコウ目 CUCULIFORMES									
カッコウ科 CUCULIDAE									
25 ジュウイチ	<i>Hierococyx hyperythrus</i>	S3	S3	S3			p		1,3
26 ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	S3	S3	S3	S3	S3	S2	S3	
27 ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	S3	S2	S3		S3	p	s3	3,1
28 カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>								
	<i>Cuculus canorus telephonus</i>	s3	S3	S3	S3	s3	S2	s3	2,1
ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES									
ヨタカ科 CAPRIMULGIDAE									
29 ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>								
	<i>Caprimulgus indicus jotaka</i>	s3	S2	S2		S2	s2	s3	5,3,1
アマツバメ目 APODIFORMES									
アマツバメ科 APODIDAE									
30 ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>								
	<i>Hirundapus caudacutus caudacutus</i>			S3	s3				6
31 アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>								
	<i>Apus pacificus kurodae</i>			S3					
	<i>Apus pacificus pacificus</i>	s3		S3		s3	P		5,1
32 ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis</i>								
	<i>Apus nipalensis kuntzi</i>		R3						
チドリ目 CHARADRIIFORMES									
チドリ科 CHARADRIIDAE									
33 コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>								
	<i>Charadrius dubius euronicus</i>		u				s3		4,1

アルファベットは季節性を表す。R：留鳥，S：夏鳥，W：冬鳥，P：旅鳥，A：迷鳥。小文字表記は2014年3月以前のみの確認。

数字は繁殖状況を表す。1：2014年4月以降に繁殖確認，2：2014年3月以前に繁殖確認，3：繁殖未確認

表-1 各地方演習林における確認種の季節性と繁殖状況

和名	学名	千葉	北海道	秩父	田無	生水	富士	樹芸	文献
シギ科 SCOLOPACIDAE									
34 ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	W	S1			R3	s2	r3	3,2
35 アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i>								
	アオシギ <i>Gallinago solitaria japonica</i>		W						
36 オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>		S3						
37 クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	w							5
38 イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	r3	s3						5,4
39 ハイイロヒレアシシギ	<i>Phalaropus fulicarius</i>			a					2
タカ目 ACCIPITRIFORMES									
ミサゴ科 PANDIONIDAE									
40 ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>								
	ミサゴ <i>Pandion haliaetus haliaetus</i>	W	S2				a	R3	2
タカ科 ACCIPITRIDAE									
41 ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>								
	ハチクマ <i>Pernis ptilorhynchus orientalis</i>	s3				s2	a		1,3
42 トビ	<i>Milvus migrans</i>								
	トビ <i>Milvus migrans lineatus</i>	R3	R2	R2		R2	R2	R3	
43 オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>								
	オジロワシ <i>Haliaeetus albicilla albicilla</i>		W						
44 オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>		W						
45 ツミ	<i>Accipiter gularis</i>								
	ツミ <i>Accipiter gularis gularis</i>	R2	s3	S2	R3	r3	s2	R3	1,3
46 ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>								
	ハイタカ <i>Accipiter nisus nisosimilis</i>		R3	R3		r3	r2	R2	1,2
47 オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>								
	オオタカ <i>Accipiter gentilis fuyyamae</i>	R3	S1	R3	R1	R2	R3	R2	
48 サシノバ	<i>Butastur indicus</i>	S3		s3		s2	a	S3	2,3
49 ノスリ	<i>Buteo buteo</i>								
	ノスリ <i>Buteo buteo japonicus</i>	W	R2	R3		R3	R3	W	
50 ケアシノスリ	<i>Buteo lagopus</i>								
	ケアシノスリ <i>Buteo lagopus menzbieri</i>		u						4
51 クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>								
	クマタカ <i>Nisaetus nipalensis orientalis</i>		R3	R1				R3	
フクロウ目 STRIGIFORMES									
フクロウ科 STRIGIDAE									
52 オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>								
	オオコノハズク <i>Otus lempiji semitorques</i>					R3			
53 コノハズク	<i>Otus sunia</i>								
	コノハズク <i>Otus sunia japonicus</i>		s3	S3		s3			1
54 フクロウ	<i>Strix uralensis</i>								
	エゾフクロウ <i>Strix uralensis japonica</i>		R1						
	フクロウ <i>Strix uralensis hondoensis</i>	R3		R3	R3	R2	R2	R3	
55 アオハズク	<i>Ninox scutulata</i>								
	アオハズク <i>Ninox scutulata japonica</i>	s3	S3	S3				S3	5
サイチョウ目 BUCEROTIFORMES									
ヤツガシラ科 UPUPIDAE									
56 ヤツガシラ	<i>Upupa epops</i>								
	ヤツガシラ <i>Upupa epops saturata</i>							A	
ブッポウソウ目 CORACIIFORMES									
カワセミ科 ALCEDINIDAE									
57 アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>								
	アカショウビン <i>Halcyon coromanda major</i>		s3	s3		s3	a	S3	7,2,3
58 カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>								
	カワセミ <i>Alcedo atthis bengalensis</i>	R2	S3	R3	r3	R2		R3	1,8
59 ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>								
	エゾヤマセミ <i>Megaceryle lugubris pallida</i>		R3						
	ヤマセミ <i>Megaceryle lugubris lugubris</i>	r3				r3		r3	1
キツツキ目 PICIFORMES									
キツツキ科 PICIDAE									
60 コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>								
	エゾコゲラ <i>Dendrocopos kizuki seebohmi</i>		R1						
	コゲラ <i>Dendrocopos kizuki nippon</i>	R1		R1	R2	R2	R1	R1	
	<i>Dendrocopos minor</i>								
61 コアカゲラ	<i>Dendrocopos minor amurensis</i>			U					
62 オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>								
	エゾオオアカゲラ <i>Dendrocopos leucotos subcirris</i>		R3						
	オオアカゲラ <i>Dendrocopos leucotos stejnegeri</i>			R1		r3	a		1,3
63 アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>								
	エゾアカゲラ <i>Dendrocopos major japonicus</i>		R1						
	アカゲラ <i>Dendrocopos major hondoensis</i>	W		R1	R3	r3	R1	R3	2
64 クマガラ	<i>Dryocopus martius</i>								
	クマガラ <i>Dryocopus martius martius</i>		R1						
65 アオゲラ	<i>Ficus awokera</i>								
	アオゲラ <i>Ficus awokera awokera</i>	r3		R3	R3	R2	R1	R3	5
66 ヤマゲラ	<i>Ficus canus</i>								
	ヤマゲラ <i>Ficus canus jessoensis</i>		R3						

アルファベットは季節性を表す。R：留鳥，S：夏鳥，W：冬鳥，P：旅鳥，A：迷鳥。小文字表記は2014年3月以前のみの確認。

数字は繁殖状況を表す。1：2014年4月以降に繁殖確認，2：2014年3月以前に繁殖確認，3：繁殖未確認

表-1 各地方演習林における確認種の季節性と繁殖状況

和名	学名	千葉	北海道	秩父	田無	生水	富士	樹芸	文献
ハヤブサ科 FALCONIDAE									
67 チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>								
	チョウゲンボウ <i>Falco tinnunculus interstinctus</i>	R3			R3			W	
68 チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>								
	チゴハヤブサ <i>Falco subbuteo subbuteo</i>		S1						
69 ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>								
	ハヤブサ <i>Falco peregrinus japonensis</i>	w	r3	R3		R3		R3	5,4
スズメ目 PASSERIFORMES									
ヤイロチョウ科PITTIDAE									
70 ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	S3							
サンショウクイ科 CAMPEPHAGIDAE									
71 サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>								
	サンショウクイ <i>Pericrocotus divaricatus divaricatus</i>			p		S3	s2		9,10,3
カササギヒタキ科 MONARCHIDAE									
72 サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>								
	サンコウチョウ <i>Terpsiphone atrocaudata atrocaudata</i>	S2		s3		S2	s3	S2	10,1
モズ科 LANIIDAE									
73 チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>						u		3
74 モズ	<i>Lanius bucephalus</i>								
	モズ <i>Lanius bucephalus bucephalus</i>	R3	S2	R3	R2	R2	R2	R3	
75 アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>								
	アカモズ <i>Lanius cristatus superciliosus</i>						s2		3
76 オオモズ	<i>Lanius excubitor</i>								
	オオモズ <i>Lanius excubitor bianchii</i>		w						2
カラス科 CORVIDAE									
77 カケス	<i>Garrulus glandarius</i>								
	ミヤマカケス <i>Garrulus glandarius brandtii</i>		R3						
	カケス <i>Garrulus glandarius japonicus</i>	R3		R2	R3	R2	R2	R3	
78 オナガ	<i>Cyanopica cyanus</i>								
	オナガ <i>Cyanopica cyanus japonica</i>	r3		R2	R3		R3		1
79 ホシガラス	<i>Nucifraga caryocatactes</i>								
	ホシガラス <i>Nucifraga caryocatactes japonica</i>		R3	P			a		3
80 ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
	ハシボソガラス <i>Corvus corone orientalis</i>	R3	R2	R3	R3	R2	R1	R3	
81 ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
	ハシブトガラス <i>Corvus macrorhynchos japonensis</i>	R3	R3	R3	R1	R2	R1	R1	
クワイタダキ科 REGULIDAE									
82 キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>								
	キクイタダキ <i>Regulus regulus japonensis</i>	w	R3	R3	r3	w	R3		5,2,1
シジュウカラ科 PARIDAE									
83 ハシブトガラ	<i>Poecile palustris</i>								
	ハシブトガラ <i>Poecile palustris hensoni</i>		R3						
84 コガラ	<i>Poecile montanus restrictus</i>								
	コガラ <i>Poecile montanus</i>		R3	R1	r3	r3	R1	r3	2,1
85 ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>								
	ヤマガラ <i>Poecile varius varius</i>	R1	R3	R1	R3	R1	R1	R1	
86 ヒガラ	<i>Periparus ater</i>								
	ヒガラ <i>Periparus ater insularis</i>	w	R3	R1	R3	R2	R1		5
87 シジュウカラ	<i>Parus minor</i>								
	シジュウカラ <i>Parus minor minor</i>	R1	R3	R1	R1	R1	R1	R1	
ヒバリ科 ALAUDIDAE									
88 ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>								
	ヒバリ <i>Alauda arvensis japonica</i>		S3		R3				
ツバメ科 HIRUNDINIDAE									
89 ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>								
	ツバメ <i>Hirundo rustica gutturalis</i>	S2		S2	S3	S3	S3	S1	
	ツバメ <i>Hirundo daurica</i>								
90 コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica japonica</i>					s3			1
91 イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>								
	イワツバメ <i>Delichon dasypus dasypus</i>	s3	S2	s2		s3	S2	S3	5,6,9,10,1
ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE									
92 ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
	ヒヨドリ <i>Hypsipetes amaurotis amaurotis</i>	R3	R1	R1	R1	R2	R1	R3	
ウグイス科 CETTIIDAE									
93 ウグイス	<i>Cettia diphone</i>								
	ウグイス <i>Cettia diphone cantans</i>	R1	S2	R2	R3	R2	S2	R2	
94 ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	S2	S3	S1		S1	P	S3	
エナガ科 AEGITHALIDAE									
95 エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>								
	シマエナガ <i>Aegithalos caudatus japonicus</i>		R2						
	エナガ <i>Aegithalos caudatus trivirgatus</i>	R1		R3	R1	R2	R1	R3	
ムシクイ科 PHYLLOSCOPIDAE									
96 オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>				U				
97 メボムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>			S3	s3	U	P		8
98 エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	s3	S3	S3		U			2
99 センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	S3	S3	S3	s3	S2	S1		1

アルファベットは季節性を表す。R：留鳥，S：夏鳥，W：冬鳥，P：旅鳥，A：迷鳥。小文字表記は2014年3月以前のみの確認。

数字は繁殖状況を表す。1：2014年4月以降に繁殖確認，2：2014年3月以前に繁殖確認，3：繁殖未確認

表-1 各地方演習林における確認種の季節性と繁殖状況

和名	学名	千葉	北海道	秩父	田無	生水	富士	樹雲	文献
メジロ科 ZOSTEROPIDAE									
100 メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>								
	メジロ <i>Zosterops japonicus japonicus</i>	R1	S3	R3	R2	R2	R2	R2	
101 エゾセンニュウ	<i>Locustella fasciolata</i>								
	エゾセンニュウ <i>Locustella fasciolata amnicola</i>		s3						7
レンジャク科 BOMBYCILLIDAE									
102 キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>								
	キレンジャク <i>Bombycilla garrulus centralasiae</i>	w	W			p			5,1
103 ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>	w	W			p			2,1
ゴジュウカラ科 SITTIDAE									
104 ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>								
	シロハラゴジュウカラ <i>Sitta europaea asiatica</i>		R1						
	ゴジュウカラ <i>Sitta europaea amurensis</i>			R2			R1		
キバシリ科 CERTHIDAE									
105 キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>								
	キタキバシリ <i>Certhia familiaris daurica</i>			R3					
	キバシリ <i>Certhia familiaris japonica</i>			R3					
ミンサザイ科 TROGLODYTIDAE									
106 ミンサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>								
	ミンサザイ <i>Troglodytes troglodytes fumigatus</i>	R1	R3	R1		R2	R3	R3	
ムクドリ科 STURNIDAE									
107 ムクドリ	<i>Spodiopsar cinereus</i>								
108 コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>								
109 カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>								
	カワガラス <i>Cinclus pallasii pallasii</i>		R2	R2		R2		r3	1
ヒタキ科 MUSCICAPIDAE									
110 マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>								
	マミジロ <i>Zoothera sibirica davisoni</i>		s3	S3		s3	s2		2,3
111 トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>								
	トラツグミ <i>Zoothera dauma aurea</i>	R3	S2	S3	W	R3	S2	R3	
121 クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	S3	S3	S2		S3	S2	S3	
113 マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	w	p	S3					5,2
114 シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	W	p	w	W	W	W	W	2
115 アカハラ	<i>Turdus chrysolus</i>								
	アカハラ <i>Turdus chrysolus chrysolus</i>	W	S3	S1	W	W	S2	W	
116 ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>								
	ツグミ <i>Turdus naumanni eunomus</i>	W	W	W	W	W	W	W	
117 コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>								
	コマドリ <i>Luscinia akahige akahige</i>	S3	S3	S3					
118 ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>								2
119 コルリ	<i>Luscinia cyane</i>								
	コルリ <i>Luscinia cyane bochaensis</i>	s1	S3	S1			S3		2
120 ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>								
	ルリビタキ <i>Tarsiger cyanurus cyanurus</i>	W	S3	R1	W	W	W	W	
121 ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>								
	ジョウビタキ <i>Phoenicurus aureus aureus</i>	W		W	W	W	W	W	
122 ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>								
	ノビタキ <i>Saxicola torquatus stejnegeri</i>	p	S1						5
123 イノヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								
	イノヒヨドリ <i>Monticola solitarius philippensis</i>	R1	u			S1		R2	2
124 エンビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	p		p			P		5,9
125 サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>								
	サメビタキ <i>Muscicapa sibirica sibirica</i>		S3	u			p		6,9,3
126 コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>								
	コサメビタキ <i>Muscicapa dauurica dauurica</i>	p	S2	s3		S2	S1		5,2
127 キビタキ	<i>Ficedula narsissina</i>								
	キビタキ <i>Ficedula narsissina narsissina</i>	S2	S1	S1	S3	S2	S1	S3	
128 オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>								
	オオルリ <i>Cyanoptila cyanomelana cyanomelana</i>	S1	S1	S1		S1		S2	
イワヒバリ科 PRUNELLIDAE									
129 イワヒバリ	<i>Prunella collaris</i>								
	イワヒバリ <i>Prunella collaris erythrogygia</i>				W				
130 カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>	u	s3	W		w	a	r3	2,3,1
スズメ科 PASSERIDAE									
131 ニュウナイスズメ	<i>Passer rutilans</i>								
	ニュウナイスズメ <i>Passer rutilans rutilans</i>		S2						
132 スズメ	<i>Passer montanus</i>								
	スズメ <i>Passer montanus saturatus</i>	R3	R3	R2	R3	R3	R3	R2	
セキレイ科 MOTACILLIDAE									
133 キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>								
	キセキレイ <i>Motacilla cinerea cinerea</i>	R1	S1	S2		R1	R1	R3	
134 ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
	ハクセキレイ <i>Motacilla alba lugens</i>	R3	S1	R3	R3	R3	R3	R3	
135 セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	R3	S2	r3	r3	R1	r3	R1	1,8,2
136 ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>								
	ビンズイ <i>Anthus hodgsoni hodgsoni</i>	w	S3	R3	w	U	s2	r3	5,8,1

アルファベットは季節性を表す。R：留鳥，S：夏鳥，W：冬鳥，P：旅鳥，A：迷鳥。小文字表記は2014年3月以前のみの確認。

数字は繁殖状況を表す。1：2014年4月以降に繁殖確認，2：2014年3月以前に繁殖確認，3：繁殖未確認

表-1 各地方演習林における確認種の季節性と繁殖状況

和名	学名	千葉	北海道	秩父	田無	生水	富士	樹芸	文献
137 アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	W	W	W	W	w	W		1
138 カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								
	カワラヒワ <i>Chloris sinica minor</i>	R3	S2	R3	R3	R2	R3	R3	
139 マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	W	R3	W		w	P		1
140 ベニヒワ	<i>Carduelis flammea</i>								
	ベニヒワ <i>Carduelis flammea flammea</i>		W						
	<i>Carduelis hornemanni exilipes</i>								
141 コベニヒワ	<i>Carduelis hornemanni</i>		W						
142 ハギマシコ	<i>Leucosticte arctoa</i>								
	ハギマシコ <i>Leucosticte arctoa brunneonucha</i>			w					
143 ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>								
	ベニマシコ <i>Uragus sibiricus sanguinolentus</i>	w	S3	w		w	w		5,6,1,3
144 オオマシコ	<i>Carpodacus roseus</i>			w					6,9
145 ギンザンマシコ	<i>Pinicola enucleator</i>								
	ギンザンマシコ <i>Pinicola enucleator sakhalinensis</i>		r3						2
146 イスカ	<i>Loxia curvirostra</i>								
	イスカ <i>Loxia curvirostra japonica</i>		R3						
147 ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>								
	アカウソ <i>Pyrrhula pyrrhula rosacea</i>		W	W			p		2
	ウソ <i>Pyrrhula pyrrhula griseiventris</i>	W	R3	R1		W	W	W	
148 シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>								
	シメ <i>Coccothraustes coccothraustes japonica</i>	w	R3	W	W	W	P	w	1,2
149 イカル	<i>Eophona personata</i>								
	イカル <i>Eophona personata personata</i>	w	S3	R3	r3	R3	R3	R3	5,1
ホオジロ科 EMBERIZIDAE									
150 ホオジロ	<i>Emberiza ciooides</i>								
	ホオジロ <i>Emberiza ciooides ciopsis</i>	R1	S2	R2	r2	R2	R1	R1	1
151 ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>								
	ホオアカ <i>Emberiza fucata fucata</i>					w			1
152 カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
	カシラダカ <i>Emberiza rustica latifascia</i>	W	P	W		W	W	w	1
153 ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>								
	ミヤマホオジロ <i>Emberiza elegans elegans</i>	W	W			W	w		3
154 ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>						S1		
155 アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>								
	アオジ <i>Emberiza spodocephala personata</i>	W	S1	w	W	W	s3	W	2,1
156 クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	W	S3	S3		U	a	W	3
以下、外来種									
キジ目 GALLIFORMES									
キジ科 PHASIANIDAE									
157 コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>								
	コジュケイ <i>Bambusicola thoracicus thoracicus</i>	R1		R2	R2	R1	R3	R3	
ハト目 COLUMBIFORMES									
ハト科 COLUMBIDAE									
158 カワラバト(トバト)	<i>Columba livia</i>	R3		R3	r3				8
インコ目 PSITTACIFORMES									
インコ科 PSITTACIDAE									
159 ホンセイインコ	<i>Psittacula krameri</i>								
	ワカケホンセイインコ <i>Psittacula krameri manillensis</i>				R3				
スズメ目 PASSERIFORMES									
チメドリ科 TIMALIIDAE									
160 ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>			R1	R3		U	R3	
161 ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>			R2	R3	R3	R3	R3	

103 125 108 60 99 97 83

アルファベットは季節性を表す。R：留鳥，S：夏鳥，W：冬鳥，P：旅鳥，A：迷鳥。小文字表記は2014年3月以前のみの確認。

数字は繁殖状況を表す。1：2014年4月以降に繁殖確認，2：2014年3月以前に繁殖確認，3：繁殖未確認